

村研年報の新出版社の決定について

既に研究通信九五号にお知らせしましたように、年報の出版を引き受けておられた塙書房から、できれば他社に出版をお願いしたい、という申出をうけ、早速、委員会を開き善後策を協議しました。その結果、(1)これまでも無理なお願いを続けてきたのであるから、塙書房にこれ以上依頼することはできない。(2)従って新規に出版社を探す。(3)その際の条件としてなるべく塙書房時代の方式を踏襲することを希望する、という点を確認しました。また、その際に出版社の候補として「お茶の水書房」があがりました。その後、同書房に意向を確認しましたところ、出版を引き受けて下さる意志のあることが判り、本年一月に、ほぼ私共の希望通りの条件で刊行をひきついで下さることを正式に決定しました。その際の主な確認事項は、(1)年報の形式は、塙書房版に準じ、「村落社会研究・第十一集」からスタートする。(2)研究叢書(既刊三輯)については既に原稿の到着している第四輯を刊行するが、それ以後については改めて検討する、ということです。

以上は、年報の新出版社として「お茶の水書房」に決定するまでの経過の概要です。なお、この間にあって、未来社・時潮社からも年報出版に関してご好意をいただきましたことをお伝えしておきます。